

■平成 26 年 短答式本試験 行政法規 講評■

1. 出題形式について

年度 形式	H21	H22	H23	H24	H25	本年
単純選択	6 問	8 問	9 問	7 問	9 問	14 問
個数選択	17 問	14 問	20 問	19 問	8 問	0 問
組み合わせ	16 問	18 問	10 問	13 問	23 問	26 問
穴埋め	1 問	0 問	1 問	1 問	0 問	0 問
計	40 問	40 問	40 問	40 問	40 問	40 問

2. 総評（詳細は、T A C 解答速報を参照のこと）

昨年に比べて、個数問題が 8 問から 0 問に減少し、単純選択問題が 9 問から 14 問、組み合わせ問題が 23 問から 26 問に増加している。出題形式としては、去年より相当易しいように思われる。

内容的には、過去問に問われていない知識や、細かいひっかけが多く、苦勞した受験生が多いのではないかと。

出題分野としては、基本的に昨年と同じであるが、都市計画法の開発許可が 1 問のみの出題となった。自然公園法が自然環境保全法となり、道路法が河川法等となったのは、ほぼ予想通りである。内容的には少しひねった問題もあるが、基本講義等を受講するなどして制度に対する理解のある受験生であれば、十分に対応できたと思われる。

全体的に、難しい問題と、易しい問題の差が大きかった。組み合わせの形式での出題が多かったことから、基本的な選択肢を確実に切ることができたかどうかが大きなポイントと思われる。

いずれにしろ、組み合わせ問題が増えた分だけ、合格点は高くなるだろう。行政法規単独での合格ラインは 70 点近辺まで上がると予想される。

以上